

【論文】

海南閩語の「訓読」と「文白異読」について

村上 之伸

海南閩語的「訓讀」與「文白異讀」

Yukinobu Murakami

本稿は海南閩語の訓読を文白異読との関連から論じたものである。その結果以下の3点が明らかになった。

- ① 訓読はまず語レベルで発生し、一部はそこから字レベルにまで達していること。
- ② ①の現象と並行して文白異読字の文言音も白読化から消失へ向っていること。
- ③ ①や②のような「口語化」は母語による識字教育が途絶えてしまったために起こったものであること。

キーワード：海南閩語、訓読、文白異読、白読化、口語化

1. はじめに

訓読といってもその現象は言語によって差異がみられ、漢字文化圏においては地域的に大きく南北に分けられる¹。高田（1992）は以下のように述べている。

「日本、朝鮮、ウイグル、契丹などはすべて似たような構造をもつ言語であって、この種の転倒させて読む訓読はこれらの北方系言語に特徴的な現象と言ってよい。南方にも語レベルの訓読は存在するが、北方のように文章のレベルにわたって訓読が行われることはない。」

ここでいう「南方」については具体的に言及されていないが、恐らく海南

閩語が含まれているものと思われる²。漢語方言ではあるが、ここに語レベルの訓読が豊富にあることは既に詹伯慧（1957）によって以下のように明らかになっている。

「海南島上の漢族人民、絶大多數操一種屬於閩南話系統的方言。這種方言在詞匯上有一點很特別的地方，這就是同義字的“訓讀”（姑且這麼稱呼）現象、這種現象不僅在其他漢語方言中少見（不是沒有），就是跟閩語系統的其他方言比較，也是很突出的。」

本稿ではこのような海南閩語の訓読現象を文白異読と関連させて両者の歴史的関係や発生原因などについて論じてみたいと思う。

2. 実 例

まず実際の訓読がどういうものなのかを「眼」と「首」を例として見てみる。「眼」にはnan3という字音³があり、これは勿論音韻的に見ても全く問題がないのであるが、これが「眼鏡」という語になると、「眼」の字音で読まずに、同義字の「目」の字音を用いmak8と訓ずる。また「首」という字についても同様で「首都」という語には「首」の字音tiu8を使わず、同義字として認識されている「頭」の字音を用いhau2と訓ずることができる。「眼」のmak8や「首」のhau2が昔からの字音の伝統をひいていないことは音韻的に明らかであるから、図式にまとめると以下のようなになる。

$A(\alpha) - B(\beta) \rightarrow B(\alpha)$ （A Bは漢字で、括弧内はその読音。）

つまり元来Aの字音は α であり、語中の全てのAには α を用いていたが、ある時からある語にAと同義と認識される字Bの字音 β を用いるようになったのである。

ただし、その訓読の進み具合は字によって様々である。先に挙げた字を語との関係からもう少し詳しく見てみると以下のようなになる。

a. 〈眼〉 本音	訓読音	b. 〈首〉 本音	訓読音
nan3	mak8(目)	tiu3	hau2(頭)
一眼井		一首歌	
一座三眼 ⁴		三首歌	
巨眼		首飾	
青眼		首义	
榜眼		自首	
	眼花	首都	首都(普遍的)
	眼睛	首先	首先(普遍的)
	眼看	首长	首长(普遍的)
	碍眼	顿首	顿首(普遍的)
	亲眼	元首	元首(普遍的)
	斜眼	部首	部首(普遍的)
	显眼		

梁猷刚(1984)

つまり「眼」のように語によって読み方が固定化されているものと、「首」のように語によってはどちらの読み方でも通用するものがあるのである。

3. 訓読の分析

次にこのような訓読がどのような字音に起こるのかをみるため、雲惟利(1987)に挙がっている103の訓読例を次の式に当てはめて分析してみた。A(α) - B(β) → B(α) (ABは漢字で、括弧内はその読音。) まずAは相当する字があるかどうかで二分できる。相当する字がない

□(toi1) - 多(do1) → 多(toi1)

のような所謂「有音無字」は23例ある。

残りの80例はその字の読み方で更に細かく以下の4つに分類できる。

① Aの字に文言音と白話音があり、αが白話音である。36例

細(tio5) - 小(tiau?3) → 小(tio5) 文言音(ei5)

海南閩語の「訓読」と「文白異読」について

- ② Aの読み方が一種類でその音 α が音韻的に白話層に属する。38例

衫 (tal) - 衣 (?i1) → 衣 (tal)

- ③ Aの字に文言音と白話音があり、 α が文言音である。4例

𨔵 (hal) - 腳 (kiok7) → 腳 (hal) 白話音 (kal)

- ④ Aの読み方が一種類でその音 α が音韻的に文言層に属する。2例

就 (teiu?8) - 即 (teek7) → 即 (teiu?8)

ここからみて分かるのは①と②で全体の92.5%を占めていることである。つまり α のほとんどは白話層に属しているのである。

一方Bは以下の5つに分類できる。

- ① Bの字に文言音と白話音があり、 β が文言音である。9例

想 (tio?8) - 思 (ei1) → 思 (tio?8) 白話音 (ee1)

- ② Bの読み方が一種類でその音 β が音韻的に文言層に属する。57例

暗 (?am5) - 晚 (ban?3) → 晚 (?am5)

- ③ Bの読み方が分からない。30例

拍 (fa?7) - 打 (?) → (fa?7)

- ④ Bの読み方が一種類でその音 β が音韻的に白話層に属する。6例

幼 (?iu5) - 細 (toi5) → 細 (?iu5)

- ⑤ Bの字に文言音と白話音があり、 β が白話音である。1例

□ (hio?7) - 拾 (tap8) → 拾 (hio?7) 文言音 (tiop8)

①と②は文言音に属する字音である。③の30例は少なくないが、本来存在していた文言音が訓読の多用により消失してしまったと解釈したい。つまり③は②の発展型とみなすことができる。④も同様で、文言音が存在していたと考えれば理解しやすい。③との違いはそれ以外に白話音があったことで、この β には残された白話音を記したにすぎない。つまり④もまた①の発展型とみなすことができるのである。

相互関係は以下のようになる。最も注目してほしいのはAの③④とBの⑤の組み合わせが1例もないことである。これはつまりAが文言層に属し、Bが白話層に属するという訓読は発生していないことを示している。

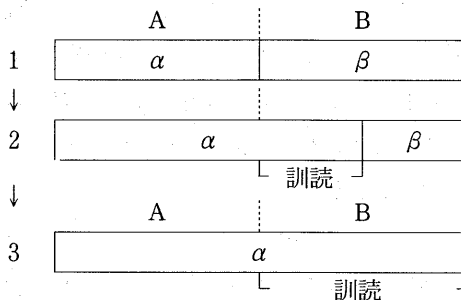
B \ A	① 36	② 38	③ 4	④ 2	有音無字 23
① 9	5	3	0	0	1
② 57	19	26	1	1	10
③ 30	10	6	3	1	10
④ 6	2	3	0	0	1
⑤ 1	0	0	0	0	1

以上をまとめると以下ようになる。

α = 白話層に属する字音 β = 文言層に属する字音

4. 訓読の発生

では海南閩後の訓読はどのように発生し、どのような変化をなしてきたのであろうか。元来、それぞれの字にそれぞれの伝統的な読み方が存在していたことは他の漢語方言をみれば明らかである。それがある語彙においてはその字 (B) の字音 (β) を用いず、これとは別の字 (A) でより常用の白話層に属する字音 (α) を用いるようになった。これが訓読である。そして訓読が多用された結果、元の読み (β) がわからなくなり、どの語彙であろうとも B の字に α を用いるようになるというレベル、すなわち字レベルの訓読まで現れるようになったのである。この流れは以下のような図にまとめられるであろう。

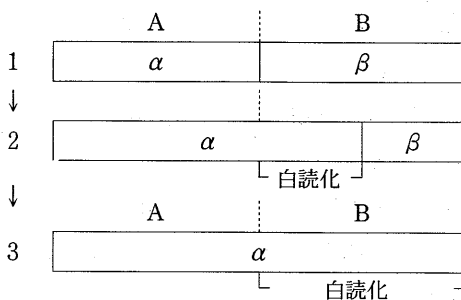


5. 文白異読との関係

文白異読とは同一の漢字が文言音、白話音の二種類の読み方を持つ現象で、一般的に文言音は音韻的に文言層に、白話音は白話層に属するのであるから、先の記号で表わすならば、 α は白話音、 β は文言音となり、AとBが同じ字でなければならない点は訓読の場合と異なるが、同様の図式化が可能となる。

$$A(\alpha) - B(\beta) \rightarrow B(\alpha) \quad (A=B)$$

また語彙との歴史的観点を入れれば以下のような図式で現わすことができる。



すなわち文言音で読むべき字 (B) が一部の語中で読めなくなり同義と認識される白話音 (α) を用いるという現象 (白読化) が訓読現象と並行して起こっていると考えられるのである⁵。勿論一部は字レベルの訓読と同様に文言音を消失することも起こり得るであろう。

そこで実際の状況を調べてみると、予想していた通りの結果が得られた⁶。明確にするために福建省の閩南語、廈門方言と対比して示す。

まず一部の語彙に見られる白読化 (2の段階) をみてみると以下のである。例えば「上」という字には廈門、海口とも文白の二つの字音があるが、海口では本来文言音を使うべき語「上告」「上旬」に白話音を用いている。以下の「氣」「學」など全て同様である。

	廈門 ⁷	海口
〈上〉	文言 sioŋ6	siaŋ6
	白話 tsiuN6	tsio1
上告	sioŋ6 ko5	tsio1 ko5
上旬	sioŋ6 sun2	tsio1 tun2
〈氣〉	文言 khi5	hi5
	白話 khui5	hui5
運氣	un6 khi5	zun6 hui5
空氣	khəŋ1 khi5	xaŋ1 hui5
〈學〉	文言 hak8	hiok7
	白話 oʔ8	o6
學徒	hak8 to2	o6 hu2
學費	hak8 hui5	o6 foi5
〈相〉	文言 sioŋ1	tiaŋ1
	白話 siuN1	tio1
相信	sioŋ1 sin5	tio1 tin5
〈生〉	文言 siŋ1	soŋ1
	白話 siN1	te1
學生	hak8 siŋ1	o6 te1

次に存在すべき文言音が消失している場合をみる。例えば一から十の数字のうち、文言音を有しているのは海南閩語では6字だけでしかない。廈門では全てに文言音が存在していることから、残りの4字は文言音が消失したと考えることができる。

数字以外の例字は文言音が消失していることを明白にするため、文白を共に有する同韻字と対比させて挙げることにする。

海南閩語の「訓読」と「文白異読」について

	《海南音字典》		《海南方言》		廈門方言	
	文言	白話	文言	白話	文言	白話
1. 一	iat7		iat7		it7	
2. 二	il		dzi1		li6	
3. 三	tam1	ta1	tam1	ta1	sam1	saN1
4. 四	si2	ti4	ɛeʔ7	ti5	su5 (～書五經)	si5 (～月)
5. 五		ɲou5		ɲouʔ8	ɲo3	ɲo6
6. 六	lok7	lak8	lok7	lak8	liok8	lak8
7. 七	sit7		ɛiat7		ts'it7	
8. 八		foi6		foiʔ7	pat7	poeʔ7
9. 九		kau3		kauʔ3	kiu3	kau3
10. 十		tap8		tap7	sip8	tasɲ8
11. 毒 (通合一)		tak8		tak8	tɔk8 (～品)	tak8 (～物)
12. 讀 (通合一)	dok8	hak8	tok8	hak8	t'ɔk8 (文～音)	t'ak8 (～冊)
13. 芽 (假開二)		ɲe2		ge2	ga2	ge2
14. 牙 (假開二)		ɲe2	dzia2	ge2	ga2 (脫～)	ge2 (象～)
15. 飽 (效開二)		fa3		faʔ3	pau3 (～食終日)	pa3 (食～)
16. 效 (效開二)	kiau4	ka4	kiau5	ka5	kau5 (～育)	ka5 (～示)
17. 留 (流開三)		lau2		lau2	liu2 (保～)	lau2 (～物)
18. 流 (流開三)	liu2	lau	iu2	lau2	liu2 (～水)	lau2 (水～去)
19. 笑 (效開三)		sio4		ɛio5	siau5 (見～)	ts'io5 (大～)
20. 燒 (效開三)		tio1	dziau2	tio2	siau1	sio1
21. 口 (流開一)		hau3		hauʔ3	k'ɔ3 (～說無憑)	k'au3 (人～)
22. 厚 (流開一)	hou6	kau5	hou7	kauʔ8	ho6 (忠～)	kau6 (～薄)
23. 旱 (山開一)		ua5		ʔuaʔ8	han6 (～災)	huaN6 苦～; 旱災
24. 寒 (山開一)	han2	kua2	han2	kua2	han2 (～冷)	kuaN2 (天～)
25. 活 (山合一)		ua5ʔ		uaʔ8	uat8 (生～)	uaʔ8 (～動)
26. 括 (山合一)	huat7		kuat7		kuat7 (～弧)	kuaʔ7 (包～)
27. 洋 (宕開三)		io2ʔ		io2	ioŋ2	iuN2 (平原)
28. 香 (宕開三)	hian1	hiol	hian1	hiol	hiɔŋ1 (～港)	hiuN1 (燒～)

梁猷剛 (1988) 《海南音字典》廣東人民出版社

雲惟利 (1987) 《海南方言》澳門東亞大學

周長楫 (1991) 廈門方言同音字彙《方言》-2 p.99-118.

6. ま と め

以上、訓読と文白異読の関係についてみてきた。海南閩語の特徴的な訓読はまず語レベルでおき、一部はそこから字レベルにまで発展し、これと並行して文白異読字の文言音も白読化から消失へ向っているのであるが、実は両者の差異は読まれる字（B）と読む字（A）が等しいかどうかということだけであって、共に口語化したというだけなのである。正に漢語であるからこそ問題となる現象であると言える。

では閩語の中でどうして海南閩語がこれほどまでに際立っているのだろうか。恐らく母語による識字教育、つまり伝統的な書き言葉の読みの教育が途絶えてしまったために文字から入った新語に文言音で対応できなくなってしまったからだと思う。民間で広く伝わっている方言韻書が海南閩語に存在していない点がそれを物語っているように思える。

今後は口語化する字にみられる共通性などについて考えていきたいと思う。

<註>

- 1 訓読は古代にまで溯れば漢字文化圏以外でも存在するという。河野、西田（1995）には「古代オリエントのセム人がシュメール文字を使ってアッカド語を音読・訓読している例があるけれども…」(P.187) とある。
- 2 語レベルの訓読は他にも非漢語の臨高話で現れ（劉（1993））、この言語もまた海南島で話されている。南方の訓読を考える上で海南閩語と共に重要であることは言うまでもない。
- 3 音節末の数字は声調の調類を表す。すなわち1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8はそれぞれ陰平、陽平、陰上、陽上、陰去、陽去、陰入、陽入を指す。
- 4 三部屋ある家のこと。
- 5 言い換えれば豊富に存在する文白異読字の中で文白が同義と認識されなければ白読化は起こらないということになる。では逆に同義と認識されない場合とはどういう場合であろうか。この辺りは今後の課題としたい。
- 6 文言音の消失については雲惟利（1987）、李如龍（1995）にも述べた箇所がある。但し共に訓読との関係についての記載はない。

海南閩語の「訓讀」と「文白異讀」について

…一般說話和讀書都用的白音，但在口語裡的個別詞語中還保留著文音。這顯然是由於白音的使用範圍逐漸擴大了，而造成文音的使用範圍逐漸縮小的緣故。

「放」廈門話的文音是hɔŋ₁₁，白音是paŋ₁₁；潮州話的文音是huaŋ₂₁₃，白音是paŋ₂₁₃。海南話則一般說話和讀書都是用baŋ₁₁這個音。顯然是白音。至於文音則保留在口語中。比方批評一個人的行為輕率、不小心時說「放肆」haŋ¹¹₅₅，əe₁₁，haŋ₁₁這個音和廈門話、潮州話的文音相對應的，應是文音。現在只保存在口語中了。

「舌」是薛韻入聲字。廈門話的文音是siat_s，白音是tsi?_s。海南話一般說話讀書都是用tei?₄₂這個音。顯然是個白音。文言teiat₄₂則保存在口語中，但所代表的不是名詞的「舌」，而是動詞「饒舌」的意思。

(雲惟利(1987)《海南方言》澳門東亞大學 p.92-93)

「文昌代表的海南島的特征：……3. 多数文言音因為進入口語而不存在、僅有白讀音。」(李如龍(1995))

7 廈門の音節末Nはその音節が鼻母音であることを表す。

〈参考文献〉

- 陳鴻邁 1996『海口方言詞典』現代漢語大詞典·分卷
高田時雄 1992「漢字導入における南北」『漢字文化圏の歴史と未来』P.37-43.
大修館書店
河野六郎、西田龍雄1995 『文字鼻眞』三省堂
李如龍 1995「論閩方言的文白異讀」『中國語言研究—第三屆國際閩方言研討會專號』第11期香港中文大學
梁猷剛 1984「瓊州方言的訓讀字」『方言』2
梁猷剛 1988『海南音字典』廣東人民出版社
劉劍三 1993「海南臨高話漢字音」『海南師院學報』第3期
雲惟利 1987『海南方言』澳門東亞大學
詹伯慧 1957「海南方言中的同義字的“訓讀”現象」『中國語文』第6期
周長楫 1991「廈門方言同音字彙」『方言』-2 P.99-118

本稿は平成9年度大塚漢文学会大会及び平成10年漢語史研究会例会に発表したものを訂正増補したものである。その席上ご助言を下された先生方に心よりお礼申し上げます。

(本研究は文教大学1998年共同研究費の助成を受けている。記して感謝したい。)

A (α) - B (β) → B (α)

	<A>	
1. □ (bue1) - 陌 (mok7) → 陌 (bue1)		2
2. □ (mai5) - 示 (ei5) → 示 (mai5)		2
3. □ (toil) - 多 (d'o1) → 多 (toil)		2
4. □ (da2) - 禾 (hua2) → 禾 (da2)		4
5. □ (di?8) - 溢 (?) → 溢 (di?8)		3
6. □ (dian?8) - 誰 (?) → 誰 (dian?8)		3
7. □ (dat7) - 丐 (?) → 丐 (dat7)		3
8. □ (di?7) - 些 (?) → 些 (di?7)		3
9. □ (na?8) - 只 (tei?3) → 只 (na?8)		2
10. □ (nam5) - 玩 (uan?8) → 玩 (nam5)		2
11. □ (eun?3) - 醜 (?) → 醜 (eun?3)		3
12. □ (eun?3) - 羞 (siu1) → 羞 (eun?3)		2
13. □ (eun?3) - 恥 (ei?3) → 恥 (eun?3)		2
14. □ (eut7) - 似 (?) → 似 (eut7)		3
15. □ (kak8) - 丟 (?) → 丟 (kak8)		3
16. □ (kak8) - 棄 (hi5) → 棄 (kak8)		2
17. □ (nam?7) - 恰 (?) → 恰 (nam?7)		3
18. □ (hio?7) - 拾 (tap8) → 拾 (hio?7)		5 (tiop8)
19. □ (hio?7) - 檢 (kiam?3) → 檢 (hio?7)		2
20. □ (hoi?7) - 睡 (?) → 睡 (hoi?7)		3
21. □ (hian?8) - 如 (dzi2) → 如 (hian?8)		2
22. □ (hian?8) - 似 (?) → 似 (hian?8)		3
23. □ (he1) - 娶 (ei?3) → 娶 (he1)		1 (eua1)
24. 鬢 (boi1) - 釵 (eail) → 釵 (boi1)	2	2
25. 杯 (bue1) - 卜 (bok7) → 卜 (bue1)	1 (bui1)	1 (bak7)
26. 縛 (bak7) - 綁 (?) → 綁 (bak7)	1 (bok7)	3
27. 逼 (fek7) - 迫 (fe?7) → 迫 (fek7)	2	4
28. 無 (bo2) - 不 (but7) → 不 (bo2)	2	2
29. 無 (bo2) - 沒 (muat7) → 沒 (bo2)	2	2
30. 莫 (bo?8) - 勿 (but7) → 勿 (bo?8)	1 (mok7)	2
31. 別 (bat7) - 識 (tek7) → 識 (bat7)	1 (biat8)	2
32. 暝 (me2) - 夜 (?) → 夜 (me2)	1 (men2)	3
33. 望 (mo1) - 看 (han?3) → 看 (mo1)	1 (man8)	2
34. 糜 (mue2) - 飯 (fan?8) → 飯 (mue2)	1 (mi2)	1 (bui1)

海南閩語の「訓読」と「文白異読」について

35. 面 (mian1) - 臉 (?) → 臉 (mian1)	1 (mian8)	3
36. 虻 (maŋʔ3) - 蚊 (bun2) → 蚊 (maŋʔ3)	2	2
37. 目 (mak8) - 眼 (ŋanʔ3) → 眼 (mak8)	1 (mok8)	2
38. 葩 (fa1) - 朵 (?) → 朵 (fa1)	4	3
39. 拍 (faʔ7) - 打 (?) → 打 (faʔ7)	2	3
40. 篷 (faŋ2) - 帆 (?) → 帆 (faŋ2)	1 (foŋ2)	3
41. 衫 (tal) - 衣 (?i1) → 衣 (tal)	2	2
42. 徙 (tuaʔ3) - 移 (dzi2) → 移 (tuaʔ3)	2	2
43. 想 (tioʔ8) - 思 (ei1) → 思 (tioʔ8)	2	1 (eē1)
44. 細 (tio5) - 小 (tiauʔ3) → 小 (tio5)	1 (ei5)	2
45. 瘠 (tanʔ3) - 瘦 (?) → 瘦 (tanʔ3)	2	3
46. 姓 (tan1) - 锈 (tiu5) → 锈 (tan1)	2	2
47. 翼 (tiat8) - 翅 (ei5) → 翅 (tiat8)	2	2
48. 地 (de5) - 處 (ei5) → 處 (de5)	1 (diʔ8)	1 (eu5)
49. 住 (duʔ8) - 在 (taiʔ8) → 在 (duʔ8)	1 (teiʔ3)	2
50. 轉 (duiʔ3) - 回 (hui2) → 回 (duiʔ3)	1 (tuanʔ3)	1 (hue2)
51. 槽 (diuʔ8) - 稻 (?) → 稻 (diuʔ8)	2	3
52. 豬 (du1) - 豚 (?) → 豚 (du1)	2	3
53. 等 (danʔ3) - 迎 (ŋeŋʔ3) → 迎 (danʔ3)	1 (deŋʔ3)	2
54. 重 (dianʔ2) - 層 (tan2) → 層 (dianʔ2)	1 (eou2)	4
55. 奶 (ni1) - 乳 (dzi2) → 乳 (ni1)	2	2
56. 兩 (noʔ8) - 二 (dzi1) → 二 (noʔ8)	2	2
57. 掠 (liaʔ8) - 捉 (tak7) → 捉 (liaʔ8)	2	2
58. 內 (laiʔ8) - 裏 (liʔ3) → 裏 (laiʔ8)	2	2
59. 落 (loʔ8) - 下 (hiaʔ8) → 下 (loʔ8)	1 (lok7)	1 (?e1, ?eʔ8)
60. 食 (teiaʔ8) - 吃 (?) → 吃 (teiaʔ8)	1 (tek8)	3
61. 者 (teeʔ3) - 這 (?) → 這 (teeʔ3)	3 (tee2)	3
62. 者 (teeʔ3) - 此 (?) → 此 (teeʔ3)	3 (tee2)	3
63. 就 (teiuʔ8) - 即 (teek7) → 即 (teiuʔ8)	4	2
64. 盅 (tsian1) - 杯 (bui1) → 杯 (tsian1)	2	1 (bue1)
65. 熱 (dzuaʔ8) - 暑 (?) → 暑 (dzuaʔ8)	1 (dziat8)	3
66. 處 (eu5) - 室 (tiat7) → 室 (eu5)	1 (ei1)	2
67. 處 (eu5) - 屋 (?ok7) → 屋 (eu5)	1 (ei1)	2
68. 砌 (eoi5) - 築 (tok7) → 築 (eoi5)	2	2
69. 粟 (siak7) - 穀 (kak7) → 穀 (siak7)	1 (tok7)	2
70. 戳 (eok8) - 刺 (ei5) → 刺 (eok8)	2	2

71. 絞 (ka1) - 剪 (tɕianʔ3) → 剪 (ka1)	1 (kiaʔ3)	2
72. 驚 (kia1) - 怕 (?) → 怕 (kia1)	1 (keŋ1)	3
73. 寄 (kia5) - 寓 (?) → 寓 (kia5)	1 (ki5)	3
74. 革 (keʔ7) - 戒 (kai5) → 戒 (keʔ7)	1 (kekʔ7)	2
75. 夠 (kau5) - 到 (?) → 到 (kau5)	1 (kouʔ8)	3
76. 仔 (kiaʔ3) - 子 (teiʔ3) → 子 (kiaʔ3)	2	2
77. 個 (kai2) - 的 (dek8) → 的 (kai2)	2	2
78. 懸 (kuai2) - 高 (kau1) → 高 (kuai2)	2	2
79. 窮 (kian2) - 貧 (fian2) → 貧 (kian2)	1 (hion2)	2
80. 共 (kaŋ1) - 跟 (kian1) → 跟 (kaŋ1)	1 (koŋʔ8)	2
81. 共 (kaŋ1) - 和 (ɦua2) → 和 (kaŋ1)	1 (koŋʔ8)	2
82. 極 (kek8) - 很 (?) → 很 (kek8)	2	3
83. 極 (ge1) - 枝 (tɕei1) → 枝 (ge1)	2	1 (kil)
84. 慧 (ŋaŋʔ3) - 愚 (dzi2) → 愚 (ŋaŋʔ3)	2	2
85. 慧 (ŋaŋʔ3) - 癡 (ɕi1) → 癡 (ŋaŋʔ3)	2	2
86. 伊 (?i1) - 他 (ɦa1) → 他 (?i1)	2	2
87. 烏 (?ou1) - 黑 (hek7) → 黑 (?ou1)	1 (?u1)	2
88. 隘 (?oiʔ8) - 窄 (taʔ7) → 窄 (?oiʔ8)	2	4
89. 話 (?ue1) - 語 (dzi5) → 語 (?ue1)	2	2
90. 幼 (?iu5) - 細 (toi5) → 細 (?iu5)	2	4
91. 欲 (?ioʔ7) - 要 (?iau5) → 要 (?ioʔ7)	1 (?ioʔ7)	2
92. 暗 (?am5) - 晚 (banʔ3) → 晚 (?am5)	2	2
93. 骸 (ɦa1) - 腳 (kiok7) → 腳 (ɦa1)	3 (ka1)	2
94. 沓 (ɦaʔ8) - 疊 (diap8) → 疊 (ɦaʔ8)	2	2
95. 頭 (ɦau2) - 首 (tiuʔ3) → 首 (ɦau2)	2	2
96. 吼 (ɦau5) - 哭 (?) → 哭 (ɦau5)	2	3
97. 企 (hiaʔ8) - 站 (tamʔ8) → 站 (hiaʔ8)	1 (hiʔ3)	2
98. 推 (ɦe1) - 辭 (ɕe2) → 辭 (ɦe1)	1 (ɦui1)	4
99. 塗 (ɦou2) - 土 (ɦouʔ3) → 土 (ɦou2)	1 (ɦu2)	2
100. 塌 (ɦap7) - 凹 (?) → 凹 (ɦap7)	3 (ɦaʔ7)	3
101. 跬 (ɦuaʔ8) - 跨 (ɦua1) → 跨 (ɦuaʔ8)	2	2
102. 痕 (ɦun2) - 紋 (bun2) → 紋 (ɦun2)	2	2
103. 浴 (ɦiak8) - 澡 (?) → 澡 (ɦiak8)	1 (dziok7)	3

□は「有音無字」を意味する。右の数字は分類の番号で、括弧内はA或はBの訓読とは直接関係のないもう一つの発音である。